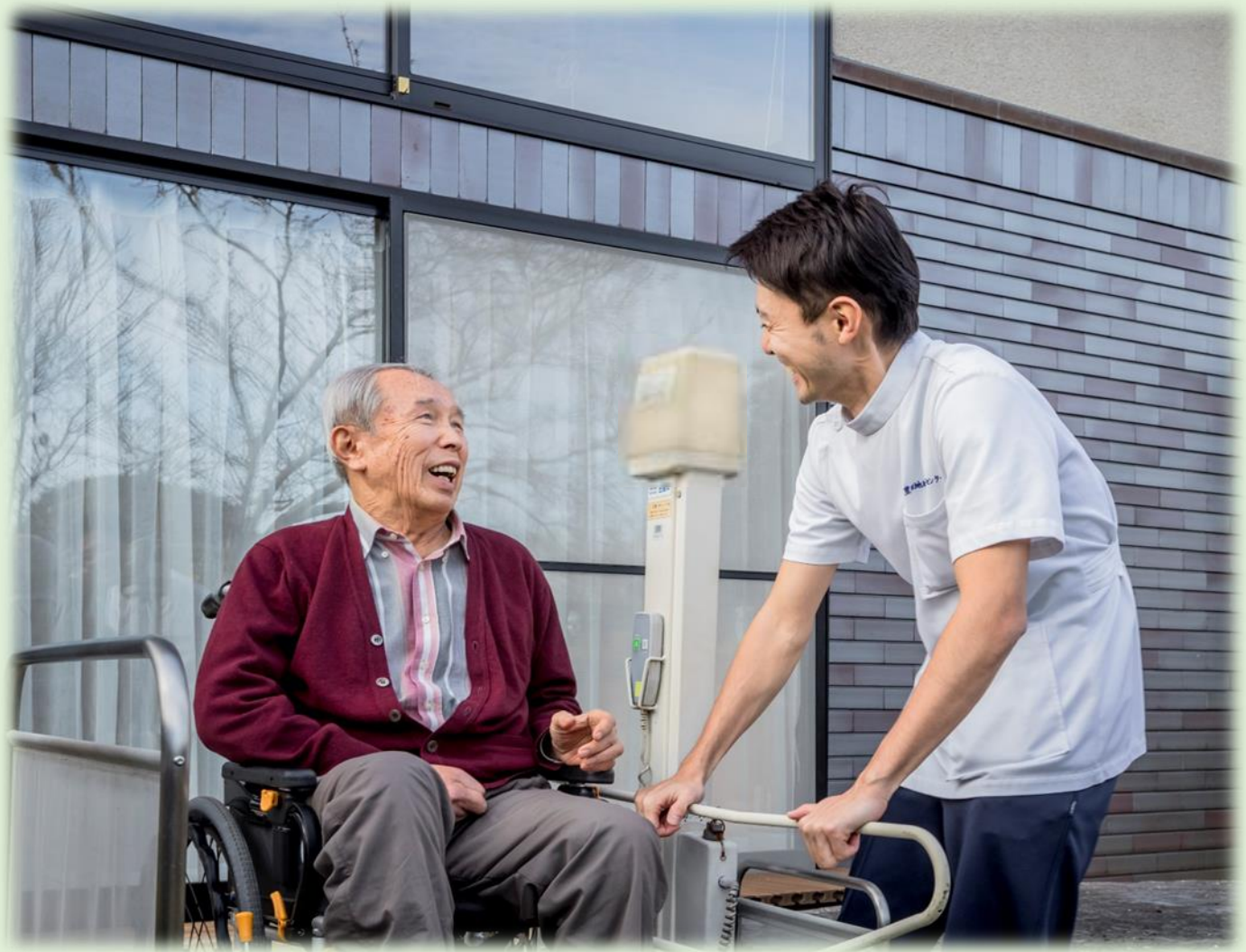




公益財団法人豊田地域医療センター
豊田総合療法士育成センター

2022年度

豊田総合療法士育成センター開講



地域に根差す豊田総合療法士を地域で育てる。

豊田総合療法士がめざすもの。
在宅生活に関する総合的・多面的な視野を持ち、
社会参加を促進していくこと。



背景

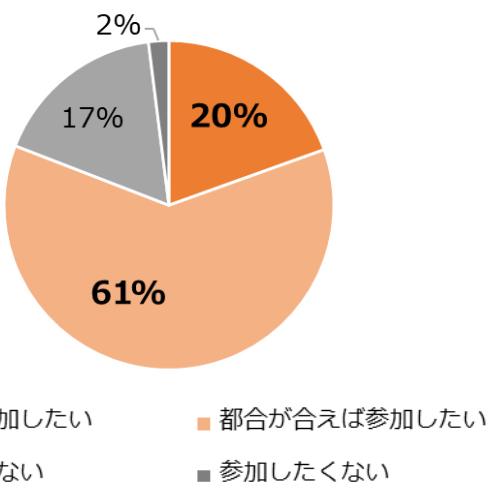
豊田市は2040年に高齢化率が30%に到達する見込みで、現在も6割以上の高齢者は在宅での生活を希望し、在宅療養に対する需要は今後も急速に増加することが想定されます。2025年度の豊田市の訪問診療を必要とする人数は約2,200人と2016年度から2.8倍に増加すると推計されています。

こうした在宅療養の需要の高まりに対し、公益財団法人としての当院の役割を再認識し、施設の再整備にあわせた新しい病院像を確立させていくべきと考えています。豊田市の地域包括ケアシステムの一翼を担い、地域とのかかわりを大切にした病院経営を展開する「コミュニティ・ホスピタル」を新たな病院像として定め、地域医療人材育成センターの中に、2022年4月「豊田総合療法士育成センター」を開講します。

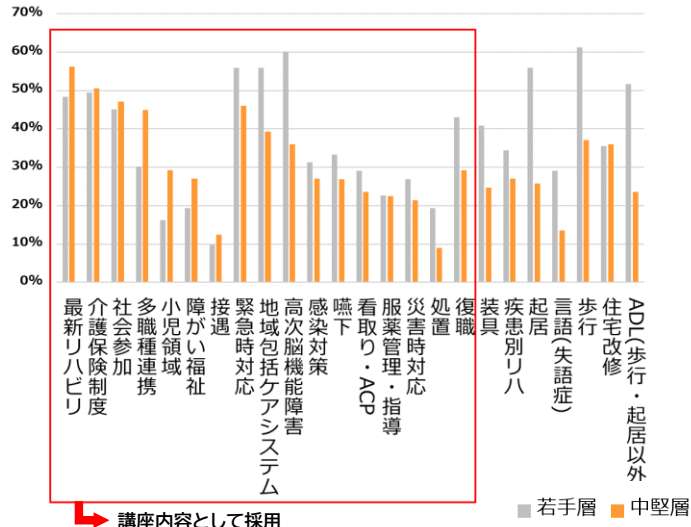


豊田市の療法士に対するアンケート結果

【研修参加希望者の割合(n=250人)】



【若手層と中堅層別・希望する講座内容の割合】



私たちが育成する療法士は 在宅生活に関する総合的・多面的な視野を持ち、 社会参加を促進できる人材を目指します。

研修目標

- ① 在宅生活に携わる療法士としての知見の向上
～医学的知識や介護・福祉制度の理解ができ、その人らしい生活を支援できる～
- ② リハビリのアドバイザーとしての地域の様々な機関や人とシームレスに連携ができる
～在宅での新しい生活を創りあげていく際に生じる問題を、
相互乗り入れチームアプローチ(Transdisciplinary team approach)で対応できる～
- ③ 地域リーダーの一員として活躍できる
～実践を通して地域住民が健康なまちづくりに参加できるように支援する～

研修生対象

1. 対象又は要件 豊田市在勤又は在住の療法士で、施設長又はそれに準ずる者の推薦があり、以下の①～③いずれかの要件を満たす者
①訪問リハビリのスタッフ:臨床経験5年以上、又は訪問リハビリ経験3年以上
②その他介護施設のスタッフ:臨床経験5年以上、又は施設経験3年以上
③一般臨床のスタッフ:臨床経験5年以上、地域リハ、地域包括ケア又は訪問リハビリ業務に興味がある者
2. 募集定員 20名程度(各事業所1～2名程度)

研修内容

- ① 研修期間: 2022年4月～2023年3月(年12回程度/月1回)
- ② 時間: 各回18時開始予定
- ③ 場所: 豊田地域医療センター コミュニティプラザ2階 地域医療人材育成センター
- ④ 研修形態: 研修生 講座45分 グループワーク60～80分
Web参加者 講座45分のみ
※研修生は基本的に対面で参加
※参加費無料(資料の印刷代として一部費用が発生する場合があります。)



2022年度 講座内容 ※講座内容は急遽変更となる可能性がありますので、予めご了承くださいたく存じます。

No.	講義名	講師
1	豊田市の現状の取り組みと豊田地域医療センターの人材育成 (高齢化率や在宅医療の今後のニーズ、豊田総合療法士育成センターの立ち位置など)	豊田市職員、 伴幸俊 地域医療人材育成センター長
2	ロボット技術やITを活用した地域リハの展開について	太田喜久夫 藤田医科大学医学部ロボット技術活用 地域リハビリ医学寄付講座教授
3	緊急時及び災害対応	小笠原雅彦 総合診療科 在宅副部門長
4	出かけよう!地域で活躍する豊田総合療法士!	坂元玲介 合同会社P-BEANS 理学療法士 豊田市療法士会幹事
5	知ってみよう!訪問看護! (処置や看取り、ACP、服薬管理・指導などについて)	加納美代子 豊田訪問看護師育成センター長 訪問看護認定看護師
6	いつまでも楽しく元気に食べられるために (摂食嚥下のメカニズムと対応法を学びましょう)	太田喜久夫 藤田医科大学医学部ロボット技術活用 地域リハビリ医学寄付講座教授 小川真央 リハビリテーション科リハビリ専門医
7	社会資源及び制度	山内聖 地域医療連携室主任
8	小児領域 (個別療法や療育サポート体制など)	齋藤啓子 豊田市こども発達センターのぞみ診療所 理学作業グループ長
9	高次脳機能障害「どうしてかわってしまったのか?」 (病態の把握が寄り添うポイント)	太田喜久夫 藤田医科大学医学部ロボット技術活用 地域リハビリ医学寄付講座教授
10	接遇、コミュニケーション	直井みずほ 国際おもてなし協会 (運営:SHINKA株式会社)代表理事
11	在宅医が訪問リハに求めること (訪問看護とのコラボレーション)	近藤敬太 総合診療科 在宅部門長
12	生活期リハビリテーションのあり方 (訪問リハと通所リハ)	二井俊行 海南病院 通所リハビリテーション事業所 係長兼介護管理係長 愛知県在宅リハネットワーク代表 愛知県訪問リハ連絡協議会部長 生活支援専門理学療法士 認定訪問療法士

※その他:市内関連施設への見学(1回:半日/年)、特別講演(1回/年)



豊田総合療法士育成センター

【お問い合わせ】

公益財団法人豊田地域医療センター

豊田総合療法士育成センター

〒471-0062 愛知県豊田市西山町3丁目30-1

TEL: 0565-34-3298

E-mail: sogoth@toyotachiiki-mc.or.jp 担当:吉橋、庄村